

「UNESCO アジア・太平洋地域 E S D 高校生フォーラム」

— 堺宣言 —

2013 年 11 月 4 日発表

2005 年 12 月、「国連持続可能な開発のための教育のための 10 年」が始まり、2014 年、その最終年を迎えます。この 10 年間、世界はともにどのような未来を築くかについて考えてきました。ここ日本でも、過去にアジア太平洋地域の国々を中心に、のべ 15 カ国が集まり、2008 年から共に考えてきました。その中で 2008 年に地球上の全てのいのちのために自らのふるまいを顧みることを宣言し、私たちは人と人とのつながりを持続的に発展させる第一歩としました。これに加え 2013 年 1 月、共に行動すべき事柄を共同宣言としました。

そして 2013 年 11 月、ここ堺市に集まった 8 カ国の私たち高校生は、身の回りで持続的な発展を阻害している諸問題として、日常において、私たちは今だけの便利さを求めすぎ自己以外への思いやりが欠けているという一面と、教育のあり方や生活条件など私たちにとって大切なものが不十分であり本当の自分や個性が尊重されていないという一面があることにも気づきました。そして未来に向けて、あらゆる文化を大切にし、人と人との関わりを大切にしたいと考えました。このために、お互いの文化を理解し実際にふれあう機会をもつことと、相手を尊重し、感謝の気持ちを伝え、あいさつなど直接的な交流を持つことをこれから先も促進したいと考えました。

更に発展とはなにかを考えた上で、私たちがなすべきこととして 3 つの観点から意見を出し合い、次の事を合意しました。

1. 人は 1 人で生きていくのではなく、家族や友達との輪を含め社会という大きな輪の中で生きているのだと改めて気づき積極的に助け合いましょう。
2. 自然があるという事を当たり前とせず、自然に対して常に感謝しながら、人と同等に接しましょう。
3. 次の世代の為に私たちは今のことを考えるのと同じように長期的な視野をもって共存していきましょう。
4. お互いを 1 人の人として認め合いました尊重し合って、お互いの歴史や文化を学び、相互理解を深めていきましょう。

これらをもって、私たちの共同宣言（堺宣言）といたします。